

おうち時間を 楽しむ読書



あけましておめでとうございます。

今年も図書館では皆さんに楽しんでいただくため、いろいろな本の情報をお届けしますので、よろしくお願いします。

年が明け、さらにコロナウイルス感染症が拡大していて、より外出が難しく、家の中で過ごす時間が多くなっていると思います。そこで今回は、各図書館の「おうち時間」をテーマにした特別展示についてご紹介します。

中央図書館「楽しい巣ごもり生活 ーおうち時間を楽しむー」

家での時間を楽しく、有意義に過ごせる本を展示。

元町こども図書館

「冬を楽しもう！～ぬくぬく、ほっこり ー家族と過ごすおうち時間ー」

みんなで楽しい冬を過ごせる児童向けの本を展示。

下宿図書館「大人だって学びたい ーおうち時間に学びなおすー」

政治や経済、芸術、語学などを学べる本を展示。

野塩図書館「美しい日本、美しい心 ーおうち時間に和を見つめるー」

心落ち着き癒される日本の美、和の心について触れられる本を展示。

竹丘図書館「本の世界で旅にでる ーおうち時間に旅をするー」

小説やエッセイ、紀行文のなかの国や場所へ、バーチャル旅行を満喫できる本を展示。

駅前図書館「疲れてしまった心を癒す ーおうち時間で自分を整えるー」

自分自身の感情と向き合える、自分にあうリフレッシュ方法について調べられる本を展示。

今回の展示は1月31日(日)までの予定です。家での時間を楽しむ本を図書館で借りてみてはいかがでしょうか。

Teens Joy

10代のみなさんへのおすすめ図書リスト



No.42 2021.1

清瀬市立図書館

部活魂！ この文化部がすごい

読売中高生新聞編集室／著
筑摩書房



文化部の部活は、「地味そう・・・」「つまらなさそう・・・」そんなイメージを持っている人はいませんか。

この本には様々な高校の文化部が紹介されていて、メジャーな演劇部や吹奏楽部、書道部などもあれば、鹿踊り部、バールン部、水族館部など聞いたことがないような、マイナーな部活も紹介されています。

そんな文化部に所属する生徒たちがその部にしかない大会や目標に向かい、仲間と共に奮闘し、時に対立して成長していく、読んでいて心を震わせられるノンフィクションです。

運動部にはできない、文化部だからこそできる青春がこの本に描かれています。

〈中央図書館 根岸〉

思春期特有のこころと身体の密接な関わりと、そのバランスが崩れたときに起こる様々な現象を、著者自身の体験や最新の研究結果も交えながら、肯定的に解説されています。

SNSやバーチャルリアルティが普及し、新型コロナウイルス感染症の流行で、リモートでの授業や会議、テレワークでの仕事など一層身体性が失われた交流が進む中、最終的には生身の身体の魅力が存在すること、言葉できちんと語り合い伝えることが大切だということを教えてください。

若い世代だけではなく、大人の方も考えさせられる一冊です。

〈駅前図書館 栗原〉

こころと身体心理学

山口 真美／著
岩波書店



日常の身近な出来事などを原稿用紙1枚にまとめた物語が50話載っています。

学校や職場での出来事、家族や友人・恋人に関する事、空想の世界の出来事など内容はいろいろですが、タイトルに『20行目で「あっ！」とおどろく』とあるように、読み終えた時に意外な意味に気づいて「あっ！」となったり、今ひとつ分りかねて「あれっ？」と首をかしげるかも…でも大丈夫。

一話ごとに物語に隠された秘密や読書が楽しくなる秘訣を、作者がまるで仲の良い友だちのように語ってくれます。

読書はちょっと苦手というあなたも、手に取ってまずは20行を読んでみませんか？

〈駅前図書館 大川〉

原稿用紙1枚の物語 20行目で「あっ！」とおどろく

あいばら まひろ／著
KADOKAWA



折り紙王子の凄ワザ！ 折り紙

有澤 悠河／著
河出書房新社



「折り紙」がもはや芸術の域に達していることを、あなたは知っていますか？「芸術？うそー？だって保育園児くらいの子が遊ぶものでしょう？」そう思った方は、ぜひ本書をお読みください。「折り紙王子」の異名を持つ「有澤悠河(ありさわゆうが)」さんが作成する、「これまで誰も見たことのない」折り紙作品の数々。「宇宙人オバケ」、「アスルドラゴン」、「馬人間」……。いったいどんなものか、イメージできますか？「折り紙って、こんなに自由に作っていいのか」と、ビックリするかもしれません。自分でも新たな折り紙作品づくりにチャレンジしたくなる1冊です。

〈野塩図書館 伊藤〉